



かながわお祭りガイド

発行／神奈川県産業労働局観光部観光企画課 製作編集／(株)相鉄エージェンシー

参加して楽しめるお祭りガイド

- 5月 小田原北條五代祭り (小田原市)
- 大凧まつり (座間市)
- 湯かけまつり (湯河原町)
- 6月 湘南よさこいまつり (平塚市)
- 7月 神奈川大和阿波おどり (大和市)
- 藤沢宿 遊行の盆 (藤沢市)
- 8月 大井よさこいひょうたん祭 (大井町)
- 10月 KAWASAKI Halloween (川崎市)
- 11月 海のまち豊漁豊作祭 (真鶴町)
- 箱根大名行列 (箱根町)

※各お祭りの内容は、2016年3月現在のものです。詳しくは、主催者にご確認ください。



神奈川県の観光案内は

(公社)神奈川県観光協会
TEL.045(681)0007 営業時間9時~17時(土日祝休業)

神奈川県観光ホームページ [観光かながわNOW](#) [検索](#)

出かけよう!
盛り上がるよう!
参加しよう!



かながわ お祭り ガイド

神奈川県

かながわを一年中 楽しもう

神奈川にはその土地に根ざした様々なお祭りが行われています。古来より伝わる儀式で歴史に思いを馳せるのもよし。世を超えて参加できるイベントでワイワイ盛り上がるのもよし。あるいは四季の美しい風景やグルメも見逃せません。このパンフレットに、神奈川県の魅力いっぱいのお祭りを紹介しています。身近な場所はもちろん、ときにはちょっと足を伸ばして、神奈川のお祭りを通して地域の魅力に触れてみませんか。

参加して楽しめるお祭り特集

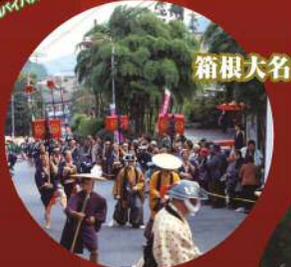
- 頁 地図No.名称(開催地)**
- 3 ① 小田原北條五代祭り(小田原市)
 - ② 大凧まつり(座間市)
 - 4 ③ 湯かけまつり(湯河原町)
 - ④ 湘南よさこいまつり(平塚市)
 - ⑤ 神奈川大和阿波おどり(大和市)
 - 5 ⑥ 藤沢宿 遊行の盆(藤沢市)
 - ⑦ 大井よさこいひょうたん祭り(大井町)
 - ⑧ KAWASAKI Halloween(川崎市)
 - 6 ⑨ 海のまち豊漁豊作祭(真鶴町)
 - ⑩ 箱根大行列(箱根町)

月別お祭り紹介

- 頁 地図No.名称(開催地)**
- 7
- 1月のイベントガイド
- ⑫ 小田原梅まつり(小田原市)
- 2月のイベントガイド
- ⑬ 衣笠さくら祭り(横須賀市)
- 3月のイベントガイド
- ⑭ あつぎ飯山桜まつり(厚木市)
 - ⑮ 日向薬師の春まつり(伊勢原市)
 - ⑯ 大岡越前祭(茅ヶ崎市)
 - ⑰ 鎌倉まつり(鎌倉市)
 - ⑱ 三之宮比々多神社の春祭り(伊勢原市)
 - ⑲ 秦野丹沢まつり(秦野市)
 - ⑳ 五所宮八幡神社例大祭(中井町)
- 4月のイベントガイド
- ㉑ 横浜みなと国際仮装行列(横浜市)
 - ㉒ 相模国府祭(大磯町)
 - ㉓ 曾我の傘焼まつり(小田原市)
 - ㉔ 道寸まつり(三浦市)
- 5月のイベントガイド
- ㉕ 蛇も蚊も祭り(横浜市)
- 6月のイベントガイド
- ㉖ 湘南ひらつか七夕まつり(平塚市)
 - ㉗ 江の島天王祭(藤沢市)

- 頁 地図No.名称(開催地)**
- 8
- ㉘ 浜降祭(茅ヶ崎市)
 - ㉙ 海南神社夏の例大祭(三浦市)
 - ㉚ 高来神社の御船まつり(大磯町)
 - ㉛ 貢船まつり(真鶴町)
 - ㉜ 上溝夏祭り(相模原市)
 - ㉝ 鎌倉花火大会(鎌倉市)
 - ㉞ 芦ノ湖水祭・鳥居焼まつり(箱根町)
- 7月のイベントガイド
- 9
- ㉟ 湯河原やっさまつり(湯河原町)
 - ㊱ 雪洞祭(鎌倉市)
 - ㊲ よこすか開国祭花火大会(横須賀市)
 - ㊳ さがみ湖湖水祭花火大会(相模原市)
 - ㊴ 川崎山王まつり(川崎市)
 - ㊵ あつぎ鮎まつり(厚木市)
 - ㊶ 足柄金太郎まつり(南足柄市)
 - ㊷ 橋本七夕まつり(相模原市)
 - ㊸ 三戸のお精霊流し(三浦市)
 - ㊹ 箱根大文字焼き(箱根町)
 - ㊺ 藤野のまつり(相模原市)
 - ㊻ 皇大神宮(烏森神社)のまつり(鎌倉市)
 - ㊼ まつだ観光まつり(松田町)
 - ㊽ 川尻八幡神社の夏祭り(相模原市)
 - ㊾ 多摩川花火大会(川崎市)
- 8月のイベントガイド
- ㊿ 小田原北條五代祭り(小田原市)
 - ① 秦野たばこ祭(秦野市)
- 9月のイベントガイド
- ② 伊勢原観光道灌まつり(伊勢原市)
 - ③ 山北のお峯入り(山北町)
 - ④ 光明寺のお十夜(鎌倉市)
- 10月のイベントガイド
- ⑤ 影向寺の縁日(川崎市)
- 11月のイベントガイド
- ⑥ 飯泉観音だるま市(小田原市)
- 12月のイベントガイド

海のまち豊漁豊作祭





参加して楽しめる お祭り特集

神奈川のお祭りには、一般の方が参加して楽しめるものも多々あります。

その代表的なお祭りを紹介します。

人気のあるお祭りは先着順や抽選になりますから、お早めにお申込みください。

参加者の皆さんと一体感をもって盛り上がるお祭りは、忘れられない思い出にもなりますね。



1 小田原北條五代祭り 小田原市

開催日 ● 5月3日
場 所 ● 小田原城址公園とその周辺
交 通 ● 小田原駅下車

毎年、5月3日(祝)に開催される、小田原市最大の観光イベント。戦国時代、五代約100年にわたり栄華を極めた戦国大名、北条氏を称え偲ぶまつり。小田原城址公園を起点に、武者隊出陣式からはじまり、北条氏(早雲・氏綱・氏康・氏政・氏直)らの武者隊、市内内外の人々が扮するまち衆隊からなる約1700人の武者行列が市内約2.7kmにわたって勇壮に練り歩く。加えて市内の学校の吹奏楽部、バトンチーム、小田原ちやうちん踊り、陸上自衛隊音楽隊、神輿など見ごたえあるパレードが行われる。迫力ある北條鉄砲隊による砲撃、忍者演技などのイベントもあり見所満載。なお、北条氏に扮する人は一部一般公募で決まる。地元ケーブルテレビでも中継され、約20万人が訪れる。

参加内容・参加方法

武者行列の各部隊の武者を募集しています。
募集人数:男女各10人 ※隊列などは主催者側で決定します。
募集要件:16歳以上で、甲冑を着用して参加できる人 ※多数抽選
募集時期:3月中旬～末日
費 用:有料(衣装代など) 金額など詳細は主催者へ問合わせください。
問合せ先:(一社)小田原市観光協会
TEL.0465-22-5002



2 大風まつり 座間市

開催日 ● 5月4日・5日
場 所 ● 相模川グラウンド(座架依橋北側)
交 通 ● 小田急線相模大塚駅～会場 シャトルバスが運行

男の子の初節句を祝う「祝い風」として始まった200年の歴史ある伝統行事。市の大風保存会の人々が毎年手作りで作成する風は、完成まで2か月かかる。大きさは13メートル四方(100畳)、尾の長さは80m総重量約1t、引き綱は200mもあり100人以上の引手によって揚げられる。字風が特徴の一つであり、書かれる文字は毎年市内内外からの一般の公募により決まる。赤と緑の文字の色は、それぞれ赤色は太陽、緑色は大地を表している。大空に舞い上がる大風をあげるのは引手の力と当日の風速にかかっている。「祝い風」は大きくて高く上がった方が縁起が良いとされ、大勢の観客の期待をのせて大空に舞い上がる大風の姿は圧巻。大風のほかに中風の掲揚もある。ほかに特産品の販売やわんぱく相撲大会、在日米陸軍音楽隊のライブなどのイベントも楽しめる。毎年10万人程度の人が訪れる。

参加内容・参加方法

大風の掲揚には多くの方の力が必要です。毎年、大風まつり実行委員会では引き手となる座間市民を募集しています。募集人数は毎年異なります。対象は18歳から50歳の方、参加費無料、申込みは先着順で受け付け定員次第締切となります。
お問合せ先/大風まつり実行委員会(座間市商工観光課)046-252-7604



3 湯かけまつり 湯河原町

開催日 ● 5月下旬
場 所 ● 不動滝～湯河原観光会館～泉公園
交 通 ● 東海道線湯河原駅下車バス 不動滝・奥湯河原行(当日は交通規制あり)

効能が高いことから將軍家に献上された湯河原の湯。その献湯神輿の出発の際に道中の安全を祈願して湯をかけお祓いをしたのが祭りの由来。5基の神輿(地元神輿会3基、芸妓衆と女性神輿体験ツアー各1基)が約2kmの温泉街を湯を浴びながら練り歩く。温泉の「湯」が入った樽(1000樽、約60t)が用意され観客は浴道から神輿めがけて湯を掛ける。感謝を込めて掛けられた湯は、担ぎ手の体で湯気となって立ち上がり、観客も祭りの一部となる。それぞれの会場では、甚句に合わせて神輿が練り歩きさらに湯が勢いよくかけられまつりの盛り上がりを見せる。女性限定の体験ツアーは、地元神輿会のレクチャーで本格的に参加できる。また同時開催の「御幸(みはし)まつり」も伝統行事。何万本の箸を燃やし、無病息災、五穀豊穡を願う。

参加内容・参加方法

募集内容/女性の皆さまに湯かけ神輿の担ぎ手になって湯河原で楽しい思い出をつくっていただく1泊2日のツアーです。スケジュール/祭り当日から1泊2日 募集人数/先着100名 募集条件/女性のみ2名以上でお申込みください。料金/1泊2食付お一人様10000円(参加費・宿泊料込。湯かけまつりオリジナル半纏プレゼント付) お問合せ・お申込み/3月下旬から資料をお送りできます。(一社)湯河原温泉観光協会 TEL.0465-64-1234



4 湘南よさこいまつり 平塚市

開催日 ● 6月第一日曜日
場 所 ● 湘南よさこい祭り会場(見附台広場・湘南スターモール)
交 通 ● 東海道線平塚駅下車

平成16年からスタートした「湘南よさこい祭り」は、子供から高齢者まで世代を超え、踊り子同士の地域を超え、大きな交流の輪をつくり地域の活性化を図ることを目的に開催されている。毎年6月に、大勢の参加者そして観客を集めて盛大に開催される祭りは、今やすっかり湘南平塚に夏の訪れを告げる風物詩として定着した。湘南平塚の須賀地区で古くから歌い継がれてきた「相州須賀甚句」をもとに生まれた、湘南よさこいのオフィシャル曲「須賀よさこい」にも注目。海、祭り、神輿をイメージした楽曲は祭りのシンボル。そのリズム、うねりとともに、全長400メートルのストリートを使った流し踊りや、芝生の上での定点踊りが豪快に繰り広げられる。鳴子の音が湘南の空に広がり、観客の声援とともに街が一つになる。

参加内容・参加方法

湘南よさこい祭り実行委員会では、毎年3月から参加チームを募集しています。募集チームは40チーム。踊り子の人数は20名から100名。参加費は一人1000円。当日はストリートパフォーマンス部門、ステージパフォーマンス部門の大賞をはじめ各賞が発表されます。応募はホームページよりエントリーシートに記入したうえで申込みください。お問合せ/湘南よさこい祭り実行委員会(平塚市観光協会内)TEL.0463-20-5110



5 神奈川大和アワおどり 大和市

開催日 ● 7月(2日間)
場 所 ● 大和駅周辺商店街
交 通 ● 小田急線・相鉄線大和駅下車(当日交通規制あり)

精霊踊りや念仏踊りが原型とされる有名な日本三大盆踊りの「阿波踊り」。ご存じ「おどる阿呆にみる阿呆、同じ阿呆なら踊らなにか損々」の声高らかに三味線や大鼓の鳴りに合わせて、大和の街中で約50連、2500人の老若男女が舞い踊る。昭和52年からはじまり今年で40回を迎える。「連(れん)」は阿波踊りを行っているグループの意味で、「-の連中」が略されて「連」となったそう。大和の本格的な多くの連が参加する。本大会前には、「ぞめき」と言われる祭りの前の高揚感を表した言葉を横した「ぞめき大和大会」もあり、こちらも見応えがある。心躍る音と粋な衣装の男踊り・女踊りに刺激され、居ても立ってもいられない人には誰でも参加できる「にわか連」もある。

参加内容・参加方法

一緒に踊りたいと思った方は「にわか連」に参加できます。「にわか連」は、「連」に所属してなくても、個人またはグループで参加できます。阿波踊り当日、大和駅周辺が集合場所になります。飛び入り参加大歓迎です。集合場所・集合時間についてはお問合せください。また毎年、事前に「阿波踊り教室」を無料で開催しています(6月～7月にかけて5回前後予定)。興味のある方は参加ください。お問い合わせ先/大和市イベント観光課 TEL.046-260-5167



6 藤沢宿 遊行の盆 藤沢市

開催日 ●7月
場 所 ●遊行寺(ゆぎょうじ)境内 藤沢駅周辺
交 通 ●藤沢駅下車もしくはバスで北口5番乗場から戸塚バスターセンター行き乗車藤沢橋下車

一遍上人を開祖とする時宗の総本山である遊行寺に伝承されている「踊り念仏」は日本の盆踊り・民族芸能のルーツと言われている。鎌倉時代に一遍上人が全国を念仏を唱えてまわった際、念仏を唱えながら突然踊り出し、見ていた民衆もならって踊り出したのが始まり。この踊り念仏をモチーフに新しい盆踊り「遊行おどり」を創作し、地元の活性化を目的に盆踊りイベントが開催されている。全国の盆踊りもみられるなど、毎年盛況で、藤沢の夏の風物詩となっている。「遊行ばやしコンテスト」や遊行寺境内にて「市民大盆踊り大会」などが開催される。

参加内容・参加方法

- 遊行ばやしコンテストにおいて参加者を募集。一般市民による踊りのコンテストを行うもので、曲目はもちろん「遊行ばやし」。遊行おどりのお囃子の音色に合わせて踊ります。地元のお店街や自治会の皆さんをはじめ、学校・企業・踊りの団体など、子供から大人まで様々な人が「連」(チーム)を組んで踊ります。
 - 遊行の盆 ゆかたコンテストの参加者募集。募集人数/40名 参加料/無料 参加資格/小学生以上 場所/期間中 藤沢駅北口サンパール広場 賞/ゆかた大賞ほか各賞 応募締切/7月中旬
 - 遊行の盆 写真コンテスト
- お問合せ先/藤沢商工会議所 遊行の盆実行委員会
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢607-1 藤沢商工会館2F TEL 0466-27-8888



7 大井よさこいひょうたん祭 大井町

開催日 ●8月第1土・日頃
場 所 ●大井町役場周辺
交 通 ●御殿場線上大井駅下車

大井町の夏を彩るこの祭りの始まりは昭和45年。御殿場線の駅員さんが待合所の日除けにひょうたんを植え、その様子が当時の時刻表の表紙を飾ったところ「相手の立場になって考える優しい心の思いやり」と評判になった。そこから、ひょうたんの縁起「出世・繁栄・縁結び」を基本理念に、健康で明るく住みよい町づくりを目指して、内外友好交流の輪を広げようとスタートした。また同時に次世代を担う子どもたちに「ふるさと」への愛着を育んでもらう目的もある。町内外から多くの踊り手が参加する「よさこいひょうたん踊りコンテスト」と多くの子どもが参加する「ジュニア&キッズダンスフェスティバル」を柱に盛り上がる。

参加内容・参加方法

- よさこいひょうたん踊りコンテスト参加チーム募集
ひょうたん祭を熱く盛り上げる踊り手を募集します。条件/チーム人数が15~100人であること(14人以下の場合は審査対象外として参加できます)。
- ジュニア&キッズダンスフェスティバル参加チーム
県西地域最大規模の子どもたちのダンスフェスティバルです。ジャンルにとらわれず好きな踊りをステージで披露していただけます。
※いずれも詳細は大井よさこいひょうたん祭ホームページをご覧ください。
<http://ooi-hyoutanmatsuri.com>開催日、募集内容、申込書などをご案内しています。



8 KAWASAKI Halloween 川崎市

開催日 ●10月
場 所 ●川崎駅東口周辺一帯
交 通 ●川崎駅下車(当日は交通規制あり)

「カワハロ」は国内最大級のハロウィンイベント。様々な仮装をした約3000人の参加者が、川崎駅周辺をパレードする。海外からも注目されるイベントとして定着し、ギャラリーは10万人を超え、年々盛り上がり方は高まっている。奇想天外なものからクオリティーの高い仮装まで、まさにお祭り騒ぎのパレードはみるだけでも楽しい。パレード当日以外にも、商店街を含む駅周辺で10月中旬ごろから月末まで仮装来場特典や「トリック・オア・トリート」と言うとお菓子がもらえる企画やハロウィン映画祭などいろいろな催しが行われ、川崎の街はパンプキン色に染まる。パレード当日に行われる「ハロウィン・アワード」と呼ばれるコンテストでは豪華賞品が盛りだくさん。

参加内容・参加方法

小学生未満を対象にした「キッズパレード」と小学生以上を対象にした「ハロウィンパレード」があります。パレードへの参加は例年9月1日から申込を受け付けています。キッズパレードは無料、ハロウィンパレードは1000円(平成27年実績)です。定員制になっており、キッズパレードは1500名、ハロウィンパレードは3000名(平成27年実績)ですが、例年どちらも1ヶ月以内に定員に達しています。



9 海のまち豊漁豊作祭 真鶴町 真鶴よさこい大漁フェスティバル

開催日 ●11月
場 所 ●真鶴海岸壁広場
交 通 ●東海道線真鶴駅下車

「海のまち豊漁豊作祭」は、四季を通して真鶴町の産業や文化と地域の産業イベントを併せ、平成25年から新しいかたちでスタート。秋の部は豊漁豊作と海の安全を祈願する「真鶴龍宮祭」を中心に真鶴海岸壁広場で開催される。海のまちをテーマにした出店が揃う「豊漁豊作市」、鮮魚販売や干物作り体験、魚堀み取り大会といった漁師ならではの「魚まつり」、真鶴の魚を釣り上げ成果を競う「豊漁釣り大会」、ヨット体験乗船もある「海とのふれあいイベント」など多彩なプログラムが実施される。なかでも盛り上がりを見せるのが「真鶴よさこい大漁フェスティバル」で、町内外から多くのチームが参加しダイナミックな演舞が披露される。例年、フェスティバルの最後を飾る総踊りの頃に火花が打ち上げられ、お祭りムードが一段と高まる。

参加内容・参加方法

毎年、真鶴町のホームページ等で開催日、日時が公開されます。参加に関しては、チームでの参加が前提となり、用意される参加申込書にチーム名、代表者名、参加予定人数、チーム紹介などを記入の上、送付すると実行委員会から必要書類等が返送され、参加手続きを行っていただけます。当日はコンテストとなり、最優秀賞を頂点に入賞チームが表彰されます。真鶴町公式ホームページ <http://www.town-manazuru.jp/>



10 箱根大名行列 箱根町

開催日 ●11月
場 所 ●箱根町 湯本温泉街
交 通 ●箱根登山鉄道箱根湯本駅下車

昭和10年に開催された温泉博覧会から始まった長い歴史のある祭り。格式高い11万3千石の小田原藩の参勤交代の様子を再現した一大絵巻が繰り広げられる。秋深まる箱根の街に「下に〜下に〜」の音が響き渡る。旗持・露払いを先頭に、六尺・挟み箱・毛槍・弓・鉄砲・徒士(かち)・小姓・大名・家老・大名かご・奥女中・腰元・長持の総勢170名が当時のままの衣装で箱根の街を約6km練り歩く。小田原本条鉄砲隊による火縄銃の演武や、奴の「やりぶり」や「はさみ箱交代」の技を披露し、長持が箱根長持歌を聞かせる。大名行列のあとにはマーチングバンドや箱根湯本温泉芸能組合の芸妓の「ヨッシャ踊り」も続き総勢400名の見応えあるパレードが繰り広げられる。また一般の人も侍や腰元に扮して参加できる。天成園・湯本小学校・早雲公園前・湯本大橋や箱根観光物産館など多くの撮影スポットがあり、毎年約9万人の観光客が集まる。

参加内容・参加方法

募集人数/約90名 募集人員/女性には腰元に変装します。和服に着替えて足袋に履き替えて6km歩きます。募集締切/9月末日 申込先/〒250-0311 神奈川県箱根湯本698 箱根観光物産館3階 箱根湯本観光協会 TEL. 0460-85-7751 申込み方法/ハガキまたは封書に参加希望名称・参加者の住所・氏名・交通手段・電話番号(携帯電話番号)を明記の上申込みください。選考/参加採用者へは毎年10月初旬に封書でご連絡します。



Pick Up! 参加して楽しめる お祭り特集

かながわの文化、伝統を堪能

月別お祭り紹介

1月 左義長 大磯町

別名「どんと焼き」「さい」とも呼ばれ、大磯町のものが県下最大規模である。漁民たちが正月の飾りを集めて、海岸に運びと呼ばれる7~8mの塔を組み上げる。夜が暗くなった頃、塔に点火。数基の塔が燃え上がる様は圧巻だ。



開催日●1月中旬/場 所●大磯町北浜海岸/交 通●東海道線大磯駅下車

1月 かながわイベントガイド

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1日 元旦初泳ぎ(小田原市) | 15日 左義長(鎌倉市) |
| 2日 寒川神社の追儺祭(寒川町) | チャッカラコ(三浦市) |
| 2~3日 東京・箱根間往復大学駅伝競走 | 20~21日 初大師(川崎市) |
| 4日 手舂始め(鎌倉市) | 23~24日 板橋地蔵尊祭礼(小田原市) |
| 6日 田名八幡宮の祭(相模原市) | 25日 岡村天満宮の初天神(横浜市) |
| 7日 奉射祭(小田原市) | 文珠祭(鎌倉市) |
| 日枝神社の歩射(川崎市) | 春祈天神社の御供養(鎌倉市) |
| 阿夫利神社の商祭(伊勢原市) | 27~28日 大雄山最乗寺大祭(南足柄市) |
| 寒川神社の武佐弓祭(寒川町) | 28日 満福寺の火伏まつり(小田原市) |
| 8日 左義長(大磯町) | 武山初不動(横須賀市) |
| 15日 筒粥神事(二宮町) | 木賊不動のだるま市(川崎市) |

2月 小田原梅まつり 小田原市

小田原梅の生産地、曾我地区の梅林が2月中に無料開放される。梅まつり期間中、満開の梅が香る馬場で、流籠馬が行われ、寿獅子舞なども見ることができ、小田原城址公園では俳句短歌会や梅の盆栽展などが行われる。



開催日●2月上旬~3月上旬/場 所●曾我梅林/交 通●東海道線下曾我駅下車

2月 かながわイベントガイド

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1日~3日 小田原梅まつり(小田原市) | 4日~5日 三溪園の観梅会(横浜市) |
| 初午の日 白笹稲荷初午祭(秦野市) | 4日~5日 田浦梅林まつり(横須賀市) |
| 3日 最乗寺部分祭(南足柄市) | 中旬の日 世附の百万遍念仏(山北町) |
| 8日 岡村天満宮の針供養(横浜市) | 17日 寒川神社の田打舞(寒川町) |
| 11日 長勝寺の流行(鎌倉市) | 28日 大山寺の五福摩羅(伊勢原市) |

3月 衣笠さくら祭り 横須賀市

衣笠山は三浦半島随一の桜の名所で、2000本の桜が咲く。鎌倉幕府創設時に、時の重鎮三浦一族の居城があり、まつりの期間中の日曜日(隔年)は音楽隊パレードとともに「三浦一族出陣者行列」が行われる。



開催日●3月下旬~4月上旬/場 所●横須賀市衣笠山公園/交 通●横須賀線衣笠駅または京浜東北線中央駅下車

あつぎ飯山桜まつり 厚木市

約3000本の桜が咲く県最大の名所。公園内には桜の時期に合わせてばっぴりが設置され、夜後も見応えがある。



開催日●3月下旬~4月上旬/場 所●飯山山森林公園、飯山音響交 通●小田原線厚木駅下車

3月 かながわイベントガイド

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 上旬 白岩神社の歩射(大磯町) | 羽降-組 小田原さくらまつり(小田原市) |
| 湘南江の島春まつり(藤沢市) | 衣笠さくら祭り(横須賀市) |
| 第1土曜 寄神社の祭礼(松田町) | 粟立山公園さくら祭(横須賀市) |
| 18~24日 川崎大師の御影供(川崎市) | あつぎ飯山桜まつり(厚木市) |
| 27日 仙石原の湯立獅子舞(箱根町) | 南郷公園桜まつり(横須賀市) |
| 28日 八管神社春の例大祭(寒川町) | |

4月 日向薬師の春まつり 伊勢原市

霊龜2年に創建され、日本三大薬師のひとつに数えられる日向薬師。本尊の開扉の後、修験者が神木登りを行う。



開催日●4月中旬/場 所●伊勢原市日向交 通●小田原線伊勢原駅北口下車

大岡越前祭 茅ヶ崎市

江戸時代の名奉行、大岡越前守忠相の遺徳をしのび大岡家の普提寺である浄見寺での越前祭を皮切りに市内各所で多彩な行事が行われる。



開催日●4月中旬/場 所●茅ヶ崎市内一円交 通●東海道線茅ヶ崎駅下車

鎌倉まつり 鎌倉市

源頼朝、義経、静御前など鎌倉ゆかりの人物をしのぶ祭り。で、昭和34年に始まった。弓道大会、花祭り、野点席など春爛漫の華やかな催しのほか、鶴岡八幡宮舞殿の「藤の舞」、そして騎馬武者が登場する流籠馬が見どころ。



開催日●4月中旬/場 所●鎌倉市鶴岡八幡宮交 通●横須賀線鎌倉駅下車

三之宮比々多神社の春祭り 伊勢原市

奈良時代に国土豊饒を願うための国の祭りとして始まった。見応えがあるのは、加藤清正、熊谷直実、仁木正正のからくり歌舞伎人形が飾られた山車。祭り囃子連中が乗り込み、太鼓を鳴らして市内を練り歩く。



開催日●4月21~22日/場 所●伊勢原市三ノ宮/交 通●小田原線伊勢原駅北口下車

秦野丹沢まつり 秦野市

神奈川県の屋根、丹沢の日本一早い山開き。渋沢駅前通りでは旧鎮主米倉丹後守の堂々たる子供大名行列も催され、賑わいを見せる。



開催日●4月第3土曜日/場 所●秦野市沢沢地区交 通●小田原線沢沢駅下車

五所宮八幡神社例大祭 中井町

山車と神輿が街を練り歩いた後、神社近くの旅所に戻ると「籠の舞」が披露される。五穀豊穡、無病息災を祈念し太鼓と笛の優雅な調子に合わせて籠、獅子を形どった張り手をかぶった踊り手が舟形舞台に舞う。



開催日●4月下旬/場 所●中井町通源/交 通●東海道線二宮駅下車

4月 かながわイベントガイド

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 上旬 相模原市民桜まつり(相模原市) | 中旬 秦野丹沢まつり(秦野市) |
| やまきた桜まつり(山北町) | 大岡越前祭(茅ヶ崎市) |
| 城山桜まつり(綾瀬市) | 高野尊祭(大磯町) |
| 寄自然林養村マスコット大会(松田町) | 吟-和吐 厚木市緑のまつり(厚木市) |
| 第1日曜 花まつり(南足柄市) | 17日 半鐘丸坊の大祭(彫川町) |
| 花まつり(湯河原町) | 21~24日 遊行寺の春の開山忌(藤沢市) |
| 龍口寺の花まつり(千部会(藤沢市)) | 下旬 野毛大遠宴(横浜市) |
| 3日 若宮別祭(鎌倉市) | 三之宮比々多神社の春祭り(伊勢原市) |
| 4日 時宗祭(鎌倉市) | 五所八幡宮神社例大祭(中井町) |
| 7~9日 極楽寺特別拝観(鎌倉市) | 大野山開き(山北町) |
| 8日 飯山観音例大祭(厚木市) | 成瀬丸フェスティバル(横須賀市) |
| 中旬 日向薬師の春まつり(伊勢原市) | 下-5日 泳げ狸のぼり相模川(相模原市) |
| 鎌倉まつり(鎌倉市) | |

5月 横浜みなと国際仮装行列 横浜市

横浜の春の風物詩として人気のある仮装行列。山下公園前から馬車道、伊勢佐木町を通り藤田公園までパレードする。



開催日●5月3日/場 所●横浜山下公園周辺交 通●東京東北線三川町または関内駅、みなとみらい線日本大通り駅下車

相模国府祭 大磯町

国府祭は、現大磯町国府に、相模国の国府が置かれた国府本郷の祭りとして、小字高天原で行う国府祭の二つを指す。六つの神社による広域に広がる古式継事と異の無形文化財指定、座間塔、鷲舞がいしへの歴史を感じさせてくれる。



開催日●5月上旬/場 所●大磯町国府地区内/交 通●東海道線大磯駅下車

曾我の傘焼まつり 小田原市

曾我兄弟が雨の暗夜に傘に火をつけて松明の代わりとし、父の仇工藤祐経の陣屋に討ち入った故事にちなんだ曾我兄弟を供養する行事。傘は燻に通じ、無病息災の祈願であるとも言われる。特に夜は風情ある雰囲気味わえる。



開催日●5月中旬/場 所●小田原市梅のセンター/交 通●東横線下曾我駅下車

道すまつり 三浦市

相模の武士、三浦一族の鎮魂祭。午前中に供養祭が行われ、午後は祭りの見どころである三浦一族のお家芸の笠巻が披露される。射手が荒井浜海岸を疾走する馬上から的を射抜くもので、伝統を受け継ぐ高度な技は見ものである。



開催日●5月下旬/場 所●三浦市油巻浜井浜海岸交 通●京浜東北線三浦駅下車

5月 かながわイベントガイド

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 上旬 相模国府祭(大磯町) | 中旬 曾我の傘焼まつり(小田原市) |
| 第2土曜 大和市まつり(大和市) | 川崎大師新能(川崎市) |
| 3日 小田原北棟五代祭り(小田原市) | 14~16日 伊勢山皇大神宮の春の大祭(横浜市) |
| 横浜みなと国際仮装行列(横浜市) | 27~28日 大雄山最乗寺大祭(南足柄市) |
| 4~5日 相模の大原まつり(相模原市) | 下旬の日曜 大山の酒祭(伊勢原市) |
| 座間の大原まつり(座間市) | 下旬 道すまつり(三浦市) |
| 5日 寄自然林養村茶葉まつり(松田町) | |

6月 蛇も蚊も祭り 横浜市

約300年の歴史をもつ疫病除けの行事。祭り当日に神社の境内で2体の蛇体を作る。この大蛇をもちたかかついで町内を練り歩き、賽銭を出した家の前では蛇体を高く放り投げている。



開催日●6月上旬/場 所●横浜市長島区生麦原神社・道念稲荷神社/交 通●京浜東北線生麦駅下車

6月 かながわイベントガイド

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 上旬 八雲祭(三浦市) | 第2日曜 大磯白キス投り大会(大磯町) |
| 産業まつり(清川村) | 1~2日 横浜開港祭(横浜市) |
| 浅間神社例大祭(横浜市) | 13日 九頭竜神社例祭(箱根町) |
| 蛇も蚊も祭り(横浜市) | 16日 汐神楽(葉山町) |
| 上旬~中旬 開成あじさい祭り(開成町) | 30日 寒川神社の夏越の大鼓(寒川町) |
| 中旬 川崎大神ちようん祭り(横浜市) | |

7月 湘南ひらつか七夕まつり 平塚市

平塚駅前の東海道本通り約500mに趣向を凝らした10数mの大竹を使った七夕飾りのトンネルができる。沿道には霧天が並び、七夕飾りコンクールなども楽しめる。



開催日●7月上旬/場 所●平塚市全域及び中心商店街交 通●東海道線平塚駅下車

7月 江の島天王祭 藤沢市

江の島天王祭は、江島神社の本社八坂神社の例祭として続けられている。陸では唐人囃しなどが奏せられ、海では神輿が白いふきをあげてもみあう。海的神輿は珍しく、その様子は迫力があり勇壮である。



開催日●7月中旬/場 所●藤沢市八坂神社交 通●小田原線片瀬江ノ島駅または江ノ電江ノ島駅下車

はまお祭り 浜降祭 茅ヶ崎市

寒川町寒川神社を始め、茅ヶ崎市内に鎮座する神輿が早朝に宮立し朝日が海上に昇る頃、南海岸に結集する。砂浜を乱舞した後、海の中へ担ぎ出され、みそぎの行事が行われる。



開催日●7月中旬/場 所●茅ヶ崎市西浜海岸交 通●東海道線茅ヶ崎駅下車

海南神社夏の例大祭 三浦市

約1000年の歴史を誇る海南神社の祭りで、町内を練り歩く神輿の先頭として県内有数の行違獅子が舞う。獅子頭は大型で、豪放な木造、行道獅子、神輿に続き山車が神社を出発。夜、飯屋に到着し翌日お宮入りをする。



開催日●7月中旬/場 所●三浦市三崎交 通●京浜東北線三崎駅下車

たかく みね 高来神社の御船まつり 大磯町

700年にも及ぶ歴史と伝統をもって受け継がれてきた祭り。観音海の中から引き上げたという照ヶ崎海岸に伝わる伝説にちなみ、1年おきに高来神社に鎮座する2隻の山車船が町内を練り歩く。



開催日●7月下旬/場 所●大磯町大磯地区内交 通●東海道線大磯駅下車

きふね 貴船まつり 真鶴町

350余年の歴史をもち、全国でも有名な舟祭りである。権伝馬が神輿船と船体を飾り立てた小早船、囃子船を曳船し神前で祭典。翌日は町内を練り歩き、夕方に退却。風光明媚な地で行われる狂歌祭りに多くの観光客が訪れる。地元根ざした貴重な祭りでもある。



開催日●7月下旬/場 所●真鶴町真鶴神社 真鶴港交 通●東海道線真鶴駅下車

上溝夏祭り 相模原市

江戸時代から続く古い祭りで、県最大級の夏祭り。郷土に保存、伝承されてきた神輿と山車を公開し、各地に伝承されている「まつりばやし」などの郷土芸能を披露する。地元根ざした貴重な祭りでもある。



開催日●7月下旬/場 所●相模原市上溝商店街/交 通●相模線上溝駅下車

鎌倉花火大会 鎌倉市

夜の静かな鎌倉の海面いっぱいに広がる水中花火は日本屈指といわれる見事なもの。沖合を走行する漁船から花火玉が水中に投げ込まれる。また夜空を豪華絢爛に彩る打ち上げ花火も多くの見物客を楽しませる。



開催日●7月下旬/場 所●鎌倉市 由比ヶ浜海岸交 通●横須賀線鎌倉駅下車

芦ノ湖水祭・鳥居焼まつり 電町

湖の主と言われる九頭竜神に赤飯と神酒を奉じる祭典。岸辺から多くの灯籠が流され花火が打ち上げられる。鳥居焼まつりは江戸時代に電神の怒りを鎮めるために鳥居を焼いて沈めた故事にちなんで行われる。



開催日●7月下旬/場 所●相模原市元根戸/湖畔/交 通●小田原駅下車

開催日●8月上旬 鳥居焼まつり/場 所●電町町/湖畔/交 通●小田原駅下車

7月 かながわイベントガイド

上旬	湘南ひらつか七夕まつり(平原市) 平塚八幡宮歩射神事(平塚市) 雷岡八幡宮盆舟(横濱市)	中旬	御供流し(鎌倉市) 第4日曜 洒水の滝まつり(山北町) 27日 関帝誕・旧暦の6月24日 (年により異なる) (横浜市)
第1日曜	夕日の滝びらき(南足柄市)	下旬	貴船まつり(真鶴町) 8~10日 弘明寺観音四万六千日(横浜市) 10~11日 みさき白秋まつり(三浦市) 15日 宮城野湯立獅子舞(箱根町)
下旬	大和波おどり		鎌倉花火大会(鎌倉市) 厚木神社例大祭(厚木市) 江の島天正祭(藤沢市) 久里浜ペー祭(横須賀市) 三増の獅子舞(愛川町) 海南神社夏祭(三浦市) 白幡八幡大社の権宜舞(川崎市) 浜降祭(茅ヶ崎市)

8月 湯河原やっさまつり

鎌倉時代の豪族、土肥次郎実平が年に1度放歌乱舞の機会を与えて民衆を楽しませた踊り「やっさ踊り」がこの祭りの発祥とされる。「やっさもっさ」のかけ声とともに芸者衆や神輿、花車など華やかなパレードが見どころ。

開催日●8月上旬/場 所●湯河原町一円/交 通●東海道線湯河原駅下車

雪洞祭

鶴岡八幡宮の段葛から境内いっばいに鎌倉在住の著名人の書画によるぼんばりが多数飾られる。ぼんばりに灯がともる夕方から夜が見ごろ。幻想的でとても美しい。

開催日●8月6日~9日(立秋の前日~9日)
場 所●鎌倉市鶴岡八幡宮/交 通●横須賀線鎌倉駅下車

よこすか開国祭花火大会

神奈川県横須賀市で開催される「よこすか開国祭」のメインイベントの一つ。6000発の多彩な花火が、真夏の夜空を華やかに彩る。

開催日●8月上旬/場 所●横須賀市三笠公園周辺
交 通●京急線横須賀中央駅下車

さがみ湖湖上祭花火大会

湖に關係してこくなられた方々の慰霊と湖の安全を願うために始められた歴史ある花火大会。打上げ数は5000発。素晴らしい音と光の芸術を繰り広げる。

開催日●8月上旬/場 所●相模原市相模湖/交 通●中央線相模湖駅下車

川崎山王まつり

稲毛神社は平安時代末期「山王神社」と呼ばれ、江戸時代には川崎宿の鎮守として参詣も多くの賑わいを見せた。祭礼は世襲によって伝承された宮座による祭事が行われ厳かに武道や神楽が奉納される。当日は大神輿が町内を練り歩く。

開催日●8月上旬/場 所●川崎市川崎区宮本町稲毛神社/交 通●川崎駅下車

あつぎ鮎まつり

祭りの呼び物は相模川河畔で行われる花火大会。約10000発の花火が夏の夜空を染め上げる。期間中は前夜祭、パレード、神輿、など多彩な催し物が行列大勢の客で賑わう。

開催日●8月上旬
場 所●厚木市相模川・中津川、小鮎川の三合流地点
交 通●小田急線厚木駅下車

8月 足柄金太郎まつり

金太郎が産湯をつかったと伝えられる夕日の滝で、山伏によるお水取り儀式が行われる。また子ども相撲、花火大会などが開催される。

開催日●8月上旬/場 所●南足柄市中区 辻下グラウンド
交 通●大雄山線富士フィルム前駅下車

橋本七夕まつり

昭和27年、橋本商店街の振興対策として始められた。色とりどりの竹飾りが立ち並び、見物客を魅了させる。

開催日●8月上旬/場 所●相模原市橋本商店街
交 通●横浜線・京王線・相模線橋本駅下車

三戸のお精霊流し

全長5mのお精霊舟は、竹を骨組みにして麦藁を巻き付けたもので、この舟に各家庭から集められたお精霊さまや供物を乗せ、新盆の白提灯を点けて青年連が泳いで海へ流す。浜で僧侶が読経し女性は御誂歌をあげる。

開催日●8月中旬/場 所●三浦市三戸/交 通●京急線三崎口駅下車

箱根大文字焼き

京都東山の古例を模して大正10年から始められた。避暑客の慰安と盆の送り火の意味が込められている。明星ヶ岳中腹に雄大な「大」の字が描かれ、文字が消えかかる頃、仕掛け花火に点火され、夜空を華やかに彩る。

開催日●8月中旬/場 所●箱根町 明星ヶ岳
交 通●箱根登山鉄道強羅駅下車

藤野のまつり

祭りの神事、山車、神輿ともに見事だが、特に山車の囃子の素晴らしい音がよく知られている。

開催日●8月中旬
場 所●相模原市 藤野地区一円
交 通●中央線藤野駅下車

皇大神宮(烏森神社)のまつり

氏子である9つの町から1台ずつ源頼朝、浦島太郎、徳川家康などの人形を乗せた山車が出る。それらが境内に勢揃いし、頂上高く人形が揺れ、囃子の音が重なって、競演となる。拝殿では湯花神楽が奉納される。

開催日●8月中旬/場 所●鎌倉市 皇大神宮/交 通●藤沢駅下車/バス

まただ観光まつり

見どころは「大名行列」と「百八ツ火」。大名行列は小田原城主、大久保家の奴振り師範から指導を受け明治初期から行われている。百八ツ火は、松田山山頂に108の松明を灯す行事。期間中は花火大会なども行われる。

開催日●8月下旬/場 所●松田町 松田中学校 町内各所
交 通●小田急線新松田駅または御殿線松田駅下車

川尻八幡神社の夏祭り

町内の奉仕者が白装束に身を包み、神事の終わった神輿をかついで社殿を3度回り、3つの鳥居をくぐり町内を練り歩く。勇壮な夏祭りの一大給巻が展開される。夕方以降は各種の余興も行われ祭りを盛り上げる。

開催日●8月下旬/場 所●川尻八幡神社
交 通●横浜線・京王線・相模線橋本駅下車/バス

多摩川花火大会

昭和の初期から多摩川の夏を告げる風物詩として親しまれてきた。高く打ち上げられた花火が川面に映る様も美しく、付近の住民はもちろん、広い地域から大勢の見物客が集まる。

開催日●8月下旬
場 所●川崎市高津区河川敷 国道246号多摩川二子橋下流河野
交 通●南武線武蔵溝ノ口駅または田園都市線二子新地駅下車

8月 かながわイベントガイド

上旬	橋本七夕まつり(相模原市) 小田原みなとまつり(小田原市) 西区虫の音を聞く会(横浜市) 三浦海岸納涼まつり(三浦市) 本牧神社鳥流し(横浜市) 川崎山王まつり(川崎市) よこすか開国祭花火大会(横浜須賀) 神奈川新聞花火大会(横浜市) 扇屋焼まつり(厚木市) 定例金太郎まつり(南足柄市) あつぎ鮎まつり(厚木市) サザビエ納涼花火大会(茅ヶ崎市) さがみ湖湖上祭花火大会(相模原市) 太閤じょうたん祭(箱根町) 八幡神社の神事能(平塚市) 大井よさこいじょうたん祭(大井町) 雪洞祭(鎌倉市) 扇屋の獅子舞(相模原市) 2~3日 湯河原やっさまつり(湯河原町) 中旬 みる夜市(三浦市)	中旬	青龍祭(清川村) 藤野のまつり(相模原市) 箱根大文字焼き(箱根町) 三戸のお精霊流し(三浦市) 皇大神宮(烏森神社)のまつり(藤沢市) 鎌倉宮の例祭(鎌倉市) 玉縄史跡まつり(鎌倉市) まただ観光まつり(松田町) 下九沢の獅子舞(相模原市) 大島の獅子舞(相模原市) 川尻八幡神社の夏祭り(相模原市) 金沢まつり花火大会(横浜市) 多摩川花火大会(川崎市) あやせ大納涼祭(綾瀬市) 鶴見川花火大会(横浜市) 相模原納涼花火大会(相模原市) 平塚花火大会(平塚市) 浦賀みなとまつり(横浜須賀) 世計り神事(葉山町)
----	--	----	---

開催日●8月中旬/場 所●鎌倉市光明寺/交 通●横須賀線鎌倉駅下車/バス

9月 お三の宮秋祭り

日枝神社の氏子は伊勢佐木町など横浜の46ヶ町に及び、祭りの規模も市内屈指で、神輿が町内を練り歩く。日枝神社とは吉田新田の開拓者、吉田勘兵衛が新田の鎮守として江戸の山王権現を勧進して創建したものである。

開催日●9月中旬/場 所●横浜市南区山王町日枝神社/交 通●京急線南太田駅下車

秦野たばこ祭

秦野市は江戸時代からたばこ栽培の盛んな地で、秦野業として有名。栽培は昭和59年に終了したが、たばこ栽培の情熱は受け継がれ、祭も続けられている。

開催日●9月下旬/場 所●秦野市本町地区一円/交 通●小田急線秦野駅下車

9月 かながわイベントガイド

上旬	栗原神社の獅子・獅子舞(座間市) 護摩神事(葉山町) 菅の獅子舞(川崎市) 第2日曜 足柄踏草まつり(南足柄市) 第3日曜 百福八幡大神の物置舞(川崎市) 第4日曜 藤沢市民まつり(藤沢市) 1日 野島・汐祭(横浜市) 12日 龍口寺法舞会(藤沢市) 中旬 お三の宮秋まつり(横浜市)	中旬	平塚八幡宮ぼんぼり祭(平塚市) 16日 流鏝馬神事(鎌倉市) 18日 面掛行列(鎌倉市) 19日 寒川神社の流鏝馬神事(寒川町) 20日 寒川神社例大祭(寒川町) 21~24日 遊行寺の秋季朝山忌(藤沢市) 27~28日 大雄山最乗寺大祭(南足柄市) 下旬 秦野たばこ祭(秦野市)
----	--	----	---

10月 伊勢原観光道灌まつり

江戸城の創建者として知られる太田道灌をしのび昭和43年から始まった。この地にゆかり深い源頼朝の行列が見られるほか、町土色豊かな太鼓、神輿の行列、パレードなどが華やかに盛り上げる。

開催日●10月中旬/場 所●伊勢原市一円/交 通●小田急線伊勢原駅下車

10月 山北のお峯入り

お峯入りとは修験者の入峰修行を意味し、神社文化財の氏子を中心に儀式が演じられる。国の重要無形民俗文化財に指定されている。儀式の所作は記録がなくすべて口伝で、特に五色踊りは見事。公演後の道行きもあややかである。

開催日●10月中旬(不定期、概ね5年毎)/場 所●山北町 山北川神明社
交 通●国府線山北駅下車

光明寺のお十夜

お十夜は足柄時代に平貞国が京都の真如堂にこもり、10日間念仏を唱え続けたことから始まった浄土宗の法要。期間中、多くの参拝者で賑わい、夜を徹しての御誂歌や念仏が響き、荘厳な雰囲気を感じさせる。

開催日●10月中旬/場 所●鎌倉市光明寺/交 通●横須賀線鎌倉駅下車/バス

10月 かながわイベントガイド

上旬	新能神事(鎌倉市) 妙蓮寺の曲懸目(横浜市) 10~12月 みる夜市(三浦市) 初旬日曜 奇自然休養村マスコリ大会(松田町) 第1日曜 人形供養(鎌倉市) 第2日曜 川尻八幡神社例大祭(二宮町) 1日 国慶節(横浜市) 10日 八十神(横浜市) 10~11月 みる夜市(横浜須賀) 中旬 葉山ふるさとひろば(葉山町)	中旬	光明寺のお十夜(鎌倉市) 尊徳祭(小田原市) 伊勢原観光道灌まつり(伊勢原市) 逗子市民まつり(逗子市) 中旬(不定期) 山北のお峯入り(山北町) 16~18日 鬼子母神の御会式(横浜市) 24日 駒ヶ岳元宮例祭(箱根町) 下旬 葉川町ふるさとまつり(愛川町) 10~11月 みる夜市(横浜須賀) 10~11月 川崎大師花火大会(川崎市)
----	---	----	--

11月 影向寺の縁日

影向寺は、天平年間創建と言われ、江戸をはじめて広く信仰されていた歴史ある寺。祭りの日は、業師堂に安置された業師如来を中心に護摩供養が行われる。境内には有名な植木市が立ち、金物や玩具などの露店も多く出て賑わう。

開催日●11月上旬
場 所●川崎市宮前区野川 影向寺
交 通●南武線・東急線横須賀武蔵小杉駅下車/バス

11月 かながわイベントガイド

上旬	かわさき市民祭(川崎市) 飯山秋まつり(厚木市) 菊花展(小田原城菊花展(小田原市) 宝物風入れ(鎌倉市) 影向寺の縁日(川崎市) 清川やまびこマラソン大会(清川村) 中旬 横須賀菊花大会(横浜須賀) 大松菊花展(松田町) 松田神社西の市(横浜市) 西の日 海南神社の面神祭(三浦市) 3日 秋のマス釣り大会(愛川町) 室生神社の流鏝馬神事(山北町)	3日	観音崎フェスタ(横浜須賀) 箱根大行列(箱根町) 3~15日 小田原城菊花展(小田原市) 8日 お火焚祭(鎌倉市) 中旬 大磯ふれあい園林水産まつり(大磯町) 23日 寒川神社秋祭(寒川町) 27日 遊行寺の一つ火(藤沢市) 下旬 最乗寺清浄火祭(南足柄市) 小田原農業まつり(小田原市) 10~11月 宮ヶ瀬クリスマスなどのついで(清川村)
----	--	----	--

12月 飯泉観音だるま市

400年以上前から続く歴史の古いだるま市で、年末年始にかけて関東で開かれるだるま市の夜切りとなる。威勢のいい「手打ち式」の声とともに歌声があがり、活気あふれた祭りとなっている。家内安全を願う家族連れも多く訪れる。

開催日●12月中旬/場 所●小田原市 飯泉山隆福寺
交 通●小田原駅下車/バス

12月 かながわイベントガイド

上旬	川尻八幡神社のしめ縄作り(城山町) 6日 秋葉山の火防祭(小田原市) 16日 御嶽産記念祭(鎌倉市) 中旬 飯泉観音だるま市(小田原市) 18日 長谷寺のぼんぼり(鎌倉市) 21日 納めの大師(川崎市) 31日 大歳(鎌倉市) 31日 除夜の汽笛(横浜港)
----	---